



7月26日(木)児童デイサービス(低学年)の体験学習の様子です。エコ村伝承館の皆さんと一緒に記念撮影。詳しくは、P5をご覧ください。

社協だより

ほほえみ

No.53

2018年10月1日

- | | |
|----|--------------------------|
| P2 | ■ 共同募金委員会からのお知らせ |
| P3 | ■ ひとり暮らしふれあい招待会 |
| P4 | ■ ワークキャンプ・日帰りボランティア・体験学習 |
| P5 | ■ 夏休み児童デイサービス・温泉宅配 |
| P6 | ■ ファミリー・サポート・センターからのお知らせ |
| P7 | ■ 介護予防教室活動紹介・義援金の受付 |
| P8 | ■ 香典返し・心配ごと相談等事業 |

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。



春のひとり暮らしふれあい招待会

春のひとり暮らしふれあい招待会が開催されました。菊池川地区は6月27日(水)に開催し58名の参加をいただきました。

菊池川河川事務所より大石様に講師としてお越しいただき、これから梅雨や台風の時期を迎えるに当たり、河川の増水への日頃からの備えや避難方法などを、過去のデータを交えて教えていただきました。

午後からは菊池川が流れる地域の園児をお招きし、踊りの披露やエアになつての手遊びなど、かわいい子ども達に自然と顔がほころんでいるようでした。

三加和地区は6月29日(金)に開催し73名の参加をいただきました。

平成音楽大学から、村橋准教授と遠山講師のお二人にお越しいただき、音楽を使った遊びや音楽療法についてお話

をお聞かせいただきました。途中、美空ひばりさんのものまねも披露いただき、名曲の数々を参加者の皆さんと一緒に歌っていただきました。

午後からはボランティアの方による読み聞かせや五木の子守唄の披露、さらにはその後参加者の飛び入りでの踊りの披露と、たくさんの音楽に触れる一日となりました。

両日とも食事の時間は近所の方や久しぶりに会われたご友人などと会話も盛り上がり、あつという間に一日が終わってしまいましたが、参加していただいた方には楽しい時間を過ごしてもらったのではないかと思います。

また、招待会開催にあたりご協力いただいた関係機関の皆さまには改めて御礼申し上げます。

(協力団体)
 ・ 和歌山県健康福祉課
 ・ 民生委員児童委員協議会

じぶんの町を良くするしくみ。 10月1日(月)～12月31日(月) 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

和歌山県共同募金委員会では、運動月間(10月～12月)にかけて、各世帯をはじめ、企業・店舗・職域・学校募金など様々な場面で募金活動を展開させていただきます。皆様から寄せられた募金の8割程度が、31年度の事業費として和歌山県共同募金委員会に配分されます。昨年度は、皆様のご協力より、目標額に近い実績となりました。今年度の目標額は、**2,880,000円**です。1人でも多くの方のご理解・ご協力をお願い致します。

WHY? 赤い羽根共同募金って、どんな募金?

●昭和22年、戦後の貧しさの中で、ともに助け合って生きていこうという熱い連帯感から始まった、今年度で71年を迎える歴史ある運動です。共同募金は、社会福祉法という法律を根拠として各都道府県を単位として行われ、災害時など例外を除き、集まった寄付金は、その都道府県内で使いみちが決められます。つまり、寄付した方々の地域に還元される寄付金です。

WHY? 募金なのに、なぜ目標額があるの?

●共同募金は、集まった寄付金を特定の配分先などに単純に配分しているわけではありません。まず、民間の社会福祉施設や団体、社会福祉協議会などからあらかじめ配分の申請があがってくるから始まります。その申請内容について、その必要性・緊急性などを審査し、寄付者の方々に納得していただけるような配分計画をたて、その計画額を目標額として行う募金です。言い換えると、目標額は最小限度、これだけは是非必要だという計算から割り出された金額という事です。

WHY? 募金は、どんなことに使われるの?

●共同募金は、民間の社会福祉活動の資金として使われます。広域的には、県内の民間福祉施設や福祉団体などに配分されます。共同募金によって、民間の社会福祉施設や社会福祉協議会などの社会福祉の団体は、様々な活動が行えるわけです。そして、赤い羽根共同募金は、熊本県共同募金会が主体となり、その下部組織である和歌山県共同募金委員会によって実施されます。つまり皆様からお寄せいただいた募金は、**和歌山県の福祉のために**役立てられています。

和歌山県の主な配分事業

老人福祉活動費 44万円

ひとり暮らしふれあい招待会や老人クラブ連合会育成費など。地域または組織間におけるつながりの構築を図る。



児童・青少年福祉活動費 33万円

児童・生徒を対象とした児童デイサービスやワークキャンプ事業・福祉体験などの福祉教育の推進を図る。

母子父子福祉活動費 6万円

ひとり親家庭を対象とした事業で、参加者同士の交流や母子会への加入促進を図る。

ボランティア活動費 51万円

町ボランティア連絡協議会及び加盟団体等への支援など、ボランティア活動推進のため。

総合福祉的的事业 100万円

社協活動の広報・啓発活動を通して、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため。

夏休み児童デイサービス



町内の小学生を対象に夏休み児童デイサービスを開催しました。7月25・26日は低学年66名、7月31・8月1日は高学年49名の参加がありました。

午前中の宿題の時間は、持ってきた宿題を解きながら、分からないところは大学生や中学生のボランティアに聞きながら進めているようでした。

昼食には、初めて「そつめん流し」を試みました。子どもたちの喜ぶ顔を想像しながら竹切からの準備を進め10mの「そつめん流し」が実現しました。

午後からの体験では、自分で絵を描いて作るプラ板キーホルダーと、エゴ村伝承館より講師をお呼びし、割り箸・ゴム鉄砲やマイ箸作りを教えていただき、参加者も慣れない手つきで一生懸命作っていました。

また、休み時間やお迎えを待つ間、他の学校の子同士仲良くなり、汗だくになりながら遊んでいたようです。



なごみAG会 温泉とお弁当の宅配

9月5日(水)になごみAG会による温泉とお弁当の宅配が実施されました。

ひとり暮らしの方に自宅でも温泉を楽しんでいたことがスタートしたこの行事も、今年で26回を迎えました。

三加和温泉ご協力のもと、源泉からお湯をタンクに積んで、95軒のお宅に届けられました。

また、女性部はお昼に合わせて手作りのお弁当を届けられました。

お湯を買われた方は「何回もお風呂に入るよ」と大変喜んでいただきました。



ワークキャンプ・日帰りボランティア



和水町内の3施設にご協力いただき、今年も中学生ワークキャンプ・日帰りボランティアを開催しました。

最初は、何をしていたか戸惑いも見受けられましたが、時間の経過とともに、積極的に行動出来るようになって短時間で生徒たちの成長を感じることが出来ました。各施設の利用者の方々の交流やお手伝いなど大変貴重な体験が出来ました。

受入れいただいた施設の皆さまにも改めてお礼申し上げます。

(実施施設)

- ・7月23・24日 ふれあい松川
- ・7月27日 清風苑
- ・8月2・3日 和楽荘

ふれあい松川ワークキャンプ
菊水中2年 有働 若菜

私はワークキャンプに参加してお年寄りの方と会話する難しさ、楽しさを学びました。

3つの施設を回り、始めは上手く話せるか不安でしたが、笑顔で話しかけてくださり、不安もなくなり、2日目は自分から話せることができました。

おじいちゃんおばあちゃんの優しい笑顔に元気をもらい、2日間の体験を終えることができました。

また、夜はバーベキュー、花火など楽しいことがたくさんあり、とってもいい思い出になったので、来年も参加したいです。

最後に、施設の職員の方には、丁寧にアドバイス、指導していただき、たくさんお話ししてくださってありがとうございました。

和楽荘ワークキャンプ
三加和中3年 仲田 ひな

私は参加するのが2回目、今回は車イスを動かすことはなかなかなかったけど、食事介助を手伝わせていただいたりとても楽しかったです。

私にも99歳のひいおばあちゃんがいます。このワークキャンプに参加させていたでいて、どのような手伝いをしたらいいのか詳しくわかり理解することができました。だから私も、ひいおばあちゃんが少しでも楽に生活できるように、ワークキャンプで学んだことをしっかり活かしていきます。

私は3年生なので、もう参加できませんが、もしまたこのような機会があれば参加して、またたくさんのお話を学び、日頃の生活で活用していきます。

2日間ありがとうございました。

清風苑日帰りボランティア
三加和中1年 山下 紗璃

初めて清風苑のボランティアに参加してみても、まず最初に思ったのは、きつくてすごく大変だなと思いました。

でも、お年寄りの方とたくさん話していくうちに楽しいと思うようになりました。

認知症の方がおられる階での活動はすごく緊張し、どうやって話しかけようかと思っていましたが、一度しゃべりかけると、色んな話を話してくださり、とても話しやすかったです。

認知症なので同じことを繰り返すように話されるけれど、どれだけ楽しかったかなどすごく伝わりました。

和楽荘にも参加し、清風苑で学んだことがしっかり活かされました。

来年もぜひ参加したいと思っているので、またよろしく願います。

三加和小福祉体験学習

三加和小学校4年生を対象に、3回にわたり福祉体験学習を実施しました。

〈7月11日 車イスとアイマスク体験〉
初めての車イスとアイマスク体験では介助者を信頼し、介助者も細かい注意を払って体験していました。

〈7月13日 点字体験〉
ゲストティーチャーに石原吉朗様をお迎えし、実際の視覚障がい者の生活の様子や、点字を教えてもらい、点字板で自分の名前を打ちました。

〈7月18日 手話体験〉
ゲストティーチャーに原賀和代様、池上直美様をお迎えし、50音の手話と簡単な挨拶、自分の名前を教えてもらい、みんなの前で発表しました。

原賀先生から手話のお話

石原先生から点字のお話

車イスとアイマスク体験



介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、町内57地区(社会福祉協議会実施地区33地区)で介護予防教室(お茶の間筋トレ)が実施されています。

週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーション、マッサージなど参加者とボランティアスタッフ、職員が一緒になって活動しています。(自主活動もあります)各地区の開催日は下の表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしております!

<各教室の実施日>

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
AM9:30 ～ 11:30	☆焼 米 (焼米公民館)	☆下津原西 (下津原西公民館)	☆立 石 (立石公民館)	☆下津田 第 1,3,5 週 (下津田公民館)	☆米渡尾 (米渡尾公民館)	☆下津原東 (下津原東公民館)
	☆前 原 (前原公民館)	☆鷺 原 (鷺原公民館)	☆長小田 (長小田公民館)		☆志口永 (志口永公民館)	☆岩 尻 (岩尻公民館)
	☆江 栗 (江栗公民館)	☆中 岩 (中岩公民館)	☆上 岩 (上岩公民館)	☆前 野 (前野公民館)	☆内 田 (内田公民館)	
	☆久米野 (久米野公民館)	☆板橋東 (台公民館)	☆下大田黒 (下大田黒公民館)	☆緑 (三加和公民館)	☆野 田 (野田公民館)	
	☆西吉地 (村公民館)		☆皆行原 (皆行原公民館)	☆下 岩 (下岩公民館)	☆上十町 (猿懸公民館)	
	☆山十町 (橋上公民館)			☆中吉地 (山森公民館)	☆中十町 (中十町公民館)	
	☆中十町 (集会センター)					
PM13:30 ～ 15:30	☆大江田 (大江田公民館)	☆本 村 (本村公民館)	☆下久井原 (下久井原公民館)	☆萩 原 (萩原公民館)	☆日 平 (日平公民館)	☆白 石 (白石公民館)
	☆用 木 (用木公民館)	☆古 閑 (古閑公民館)	☆藤 田 (藤田公民館)		☆牧 野 (牧野公民館)	☆上久井原 (上久井原公民館)
	☆平 野 (平野公民館)	☆中 路 (中路公民館)	☆中 原 (中原公民館)		☆江光寺 (江光寺公民館)	☆馬 場 (馬場公民館)
	☆西 口 (平々公民館)	☆上和仁 (上和仁公民館)	☆春 富 (春富集会センター)		☆ロマン館	☆上津田 (上津田公民館)
	☆上大田黒 (上大田黒公民館)	☆和仁東 (和仁東公民館)	☆寺 山 (寺山公民館)		☆中和仁 (鬼丸公民館)	☆東吉地 (切畑公民館)
			☆北 原 (北原公民館)		☆和仁西 (和仁西公民館)	

☆印は、社協が町から委託を受けて実施している地区になります。

義援金の受付けを行っています。

～ 平成30年7月豪雨災害 & 平成30年北海道胆振東部地震災害 ～

平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨災害により、西日本を中心に甚大な被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けております。

お寄せいただいた義援金は、全額を被災地にお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

○受付期間 平成30年12月31日(月)まで

○受付場所 和水町社会福祉協議会

平成30年9月6日に発生した北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震により、北海道に大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、義援金を受け付けております。

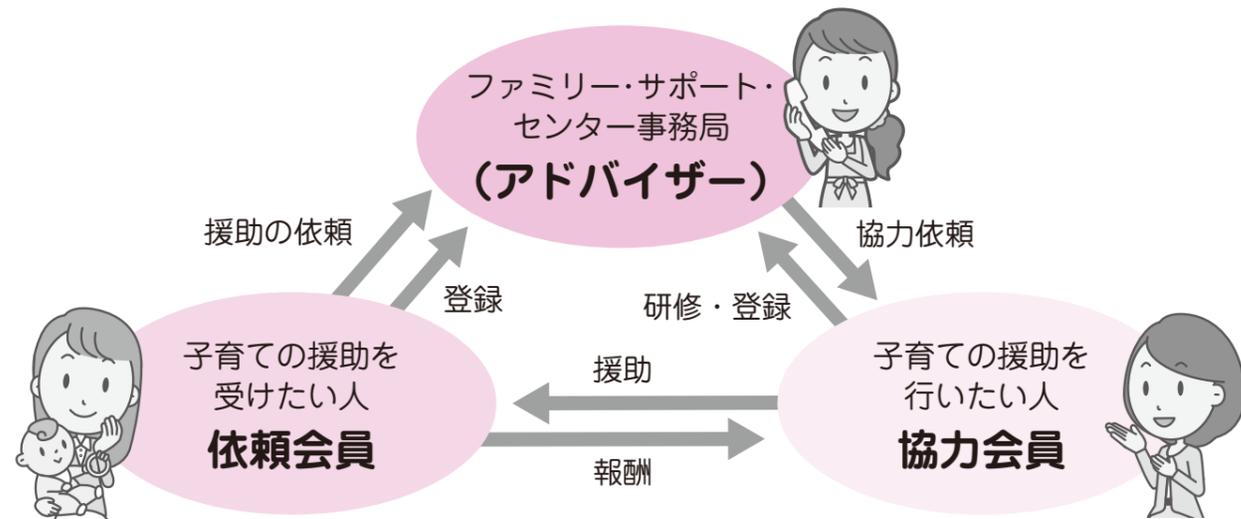
お寄せいただいた義援金は、北海道に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

○受付期間 平成31年3月31日(日)まで

○受付場所 和水町社会福祉協議会

和水町ファミリー・サポート・センター 会員募集

子育て中のパパ・ママを応援します



和水町ファミリー・サポート・センターでは、子育て中の保護者の仕事と育児の両立を支援するために、子どもの一時預かりや送迎などの相互支援活動を行っています。本事業の利用を希望される方は、事前に会員登録が必要となります。

- 【依頼会員】** 町内在住の人で、生後6カ月から小学6年生までの子どもを養育している方です。なお、預けられる子どもの方が病気の時は、援助が出来ません。
- 【利用料金】** 依頼会員は、協力会員に対して、1時間当たり600円(平日: 8時～5時)～を支払います。※助成制度有 詳しくは、社会福祉協議会までお問い合わせください。

ファミリー・サポート・センター アドバイザー募集!

- ◆雇用形態 非常勤職員
- ◆雇用期間 採用日～平成31年3月31日まで
- ◆応募条件 年齢不問。学歴不問。パソコン(ワード・エクセル)技能を有する方。
- ◆給 与 時給800円～
- ◆業務内容 利用会員・協力会員の募集や登録、会員相互の援助活動のコーディネート、その他センターの遂行に関する業務を行います。業務で基本的なパソコン操作を行います。その他地域福祉事業に関する業務。
- ◆勤務地 和水町社会福祉協議会
- ◆勤務時間 9:00～16:00の間の6時間 休憩時間60分
- ◆募集期間 随時
- ◆採用人数 1名
- ◆選考方法 面接試験 ※書類選考あり

社会福祉士相談援助 実習終了



九州看護福祉大学 4年 渡慶次亜美

今回の実習を通して多くの事業に参加、見学をさせていただき、社会福祉協議会の役割や地域を支援していく際の社会福祉士としての視点を学ぶことができました。

今後は、実習で浮き彫りとなった課題に対して取り組み、実習で得た学びを生かして福祉に携わりたいです。

23日間、ありがとうございました。

寄付御礼

H30年6月25日～H30年9月18日 受付分

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

寄付者	物故者	行政区(住所)
井島 弘子様	亡夫) 直治	上板楠
有働 利夫様	亡母) 幸子	中和仁
荒木 純一様	亡母) チハヤ	蜻浦
富永 詞子様	亡子) 晃昭	藤田
大津山セキ様	亡夫) 孝徳	西吉地
佐藤ヨシ子様	亡夫) 誠吾	西口
池田 聡明様	亡母) 京子	馬場
武田スズミ様	亡夫) 知	板楠東
日永 照子様	亡父) 之雄	上津田
荒木 一昭様	亡母) 照子	上岩
西村 和也様	亡母) エイ	中原
宮本 武男様	亡妻) 京子	中路
中嶋 輝弘様	亡子) 清	久米野
東 秀幸様	亡母) テイ子	寺山
渡辺 健次様	亡母) シズエ	上十町
徳永 利男様	亡母) シサト	下津原菰田
梅田 富男様	亡父) 不二男	岩尻
池田 恭子様	亡夫) 聡明	馬場
堤 一徳様	亡母) ツヨメ	上十町
緒方 實様	亡弟) 修	上平野
池田 満様	亡父) 徳幸	中路
坂梨 英明様	亡父) 博	江栗
北川 隆之様	亡妻) 淳子	内田
齋木 孝代様	亡夫) 功	寺山
徳永 節子様	亡母) 魚住照代	蜻浦
藤山 耕一様	亡父) 耕介	前野
滝本 俊一様	亡母) 百合子	下岩
井田 勝徳様	亡母) ナツカ	上和仁
古家 修一郎様	亡母) 子徳	上吉地
竹下 佐和子様	亡夫) 康一	上岩
山崎 清様	亡妻) 信子	大屋
嶋田 紀代子様	亡子) 圭史	久米野
笹渕 賢吾様	亡伯母) 幸子	中吉地
荘山 安弘様	亡父) 晃弘	山鹿市

心配ごと相談・補聴器相談・法律相談

	10月	11月	12月
心配ごと相談	10月12日(金) 10:00～12:00 福祉センター 行政相談委員1名 民生児童委員2名	11月9日(金) 10:00～12:00 本村公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	12月14日(金) 10:00～12:00 三加和公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名
法律相談	10月26日(金) 10:00～12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》	11月30日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》	12月21日(金) 10:00～12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》
補聴器相談	10月19日(金) 9:00～12:00 福祉センター 熊本補聴器相談 センター対応		

社会福祉協議会

会費納入のお礼

8月から9月にかけて、地域住民の皆様につきましては、社協会費募集にご協力いただき誠にありがとうございました。

皆さまから寄せられました会費は、地域課題の解決に向けた取り組み(地域福祉の推進)に向けての活動費や必要経費として大切に運用させていただきます。

今度とも、社協活動のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



内 訳	件 数	金 額
菊水地区	1,840件	920,000円
三加和地区	1,444件	722,000円
合 計	3,284件	1,642,000円

善意寄付

下記の方々より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇

- ◆高松 寿英様 (寺山)
- ◆三串 直人様 (西吉地)
- ◆匿名 1件

◇物 品◇

- ◆福永 伸代様 (焼米) シルバーカー1台

編集後記

外を見渡すと、秋を感じさせる風景が目に見え、朝夕涼しくなり、過ごしやすい気候になってきました。“〇〇の秋”という言葉がありますが、皆さんはどのような言葉が当てはまりますか? 食欲・読書・スポーツなど沢山あるかと思えます。意識的な時間を確保し、新しい発見が出来るように取り組むことが出来たらと思います。(石原)